校長挨拶

福岡県立小倉西高等学校のウェブサイトをご覧いただき誠にありがとうございます。

本校は、明治三十一年、現在の砂津の地に福岡県立小倉高等女学校として創立されました。大正元年、本校生徒の制服と社会進出を果たした女性の制服とを区別するため袴に筋を付けることになりました。福岡高女（現在の福岡中央高校）は裾に二本線、小倉師範附属小学校（現在の福岡教育大学附属小倉小学校）が一本線を付けていたことから、区別のため本校は袴と校章に三本線をつけることとなりました。これが「三筋（みすじ）」の伝統として現在にまで至っています。

本校は創立当初から女子教育の草分けとして名を馳せ、昭和十年には砂津から現在の到津の地に校舎移転し、昭和二十四年の学制改革により男女共学となりました。本年、学校創立百二十八年目を迎え、県下でも、極めて長い歴史と伝統を有する学校であり、「強く 正しく 美はしく」の校訓のもと、人としての誠実さと知性とを兼ね備えた人格の形成に努めてきました。卒業生総数はすでに三万六千人を超え、国内外の様々な分野で多数の有為な人材を輩出し、現在もなお県下有数の全日制普通科高校として発展を続けています。

本校の校訓は「強く 正しく 美はしく」です。「強く」 とは、困難に耐えて生き抜くたくましさを身に付けること、「正しく」は確かな学力と公正な判断力を育成すること、「美はしく」は礼儀正しく誠実な心を育てることをそれぞれ意味しています。この校訓は時代を問わず求められる教育の不易の部分であり、将来にわたって大切にしていきたいと思っています。

また、本校の使命、すなわちスクール・ミッションは「知性と品格を備え、社会をけん引する人材を育成する学校」です。探究的な学習活動や生徒が企画運営する学校行事等を通して、高い学力と公正な判断力を持ち、自ら考え主体的に行動し、社会変革を実現する、心身ともにたくましい人材を育成することを目指し、教職員が一丸となって教育活動の充実に全力で取り組んでいく所存です。

当ホームページで、校訓「強く 正しく 美はしく」を具現化すべく文武両道に真摯に励む生徒の姿をご覧いただき、本校の魅力に触れていただければ幸いです。

令和8年4月
福岡県立小倉西高等学校
第41代校長　浪﨑 陽一